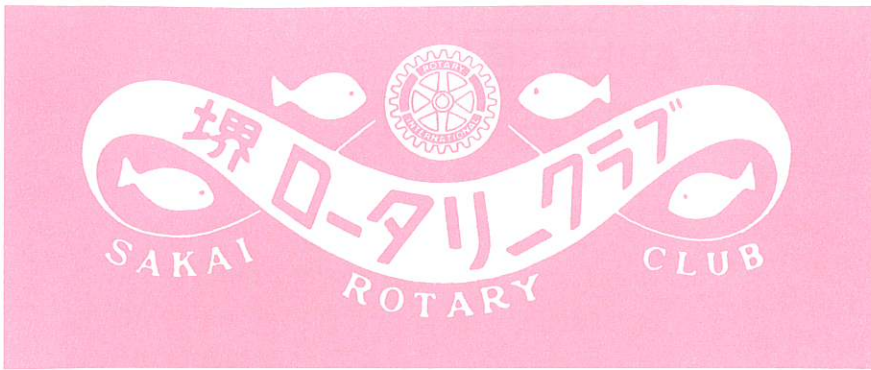


SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN



第2640地区

創立 昭和26年(1951)2月16日
例会日 毎週木曜日12:30
例会場 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺3F
TEL (072) 224-1121
事務所 〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺8F
TEL (072) 238-3250
FAX (072) 232-3711
会長 佐野 記久子
幹事 林 豊之
会報担当 竹島 尚弘
陶 貞光



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

四
つ
の
テ
ス
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://www.rid2640g.com/toyooka/>

本日の例会

第3434回例会 (34)2022年6月16日

歓談例会

○例会ソング 「ロータリー讃歌」
「夏の思い出」

○今月の皆出席のお祝い

次週の例会

第3435回例会 (35)2022年6月23日

夜間例会

於：ホテル・アゴーラリージェンシー
大阪堺 3階「春慶の間」

前週の例会

第3433回例会 (33)2022年6月9日

例会ソング 「今日も一日」
「三百六十五歩のマーチ」

卓話

「2022年規定審議会について」

スピーカー 第2640地区情報規定委員会
副委員長 西尾幸佑氏
紹介者 東野裕暢会員



出席報告 会員 27名
ZOOM 1名
ゲスト 1名
ゲスト 西尾幸佑氏

出席率 90.48% (5月12日)

会長の時間

○今月の記念日のお祝い

代表 神山紀夫会員

○本日のゲストの方へ来会のお礼。

○会長のお話

幹事報告

○本日の開催行事

- ・次期親睦活動委員会 11時30分～
- ・臨時理事役員会 例会時～

○本日の配布物

- ・ガバナー月信No.12 (卓上)
- ・卓話資料

○連絡事項

- ・次週は、歓談例会です。ご協力よろしく
お願い致します。

ニコニコ報告

○本日の卓話者、第2640地区情報規定副委員長 西尾幸祐様より、当クラブよりの薄謝をニコニコ箱へご寄付いただきました。

○佐野記久子会長より、本日は西尾幸祐様お忙しい中を今年度2回目のご来会ありがとうございます。会員一同、規定審議会の説明を楽しみにしております。

○中田好信会員より、結婚記念の御花どうも有難うございました。何年かぶりに結婚当初の話を妻とすることができました。ありがとうございます。

以上それぞれニコニコ箱へご寄付頂きました。

ありがとうございました。

ニコニコ箱	3件	40,000円
累計		996,000円

今月の皆出席

福井隆一郎会員26年 (平成8年入会)

神山 紀夫会員15年 (平成19年入会)

寄稿

2021-2022 年度『一年を顧みて』

会長 佐野 記久子

今年度も残すところ僅かになってまいりました。本来は最終例会の前週例会・会長の時間でご報告をするべきでしたが、理事・役員会のご了承を得て週報特別号でお届けする事になりました。

先ず、今年度を振り返りますと、本来なら45回の例会開催の予定の内、上半期が17回、下半期が18回、一年を通して35回の開催で終了した結果に、改めてコロナ感染症の脅威を痛感しています。

将に2年半に亘ってのWithコロナの状況下での例会運営は、日本のみならず世界中のロータリークラブにも多大な影響を与え、休会もしくはオンラインによるバーチャル開催になりました。幸いにも堺RCの例会運営の在り方は、前年度の会長・幹事様のその時々によっての英知と英断によって準備されたハイブリット例会やスクール方式の例会場設定などを踏襲させて頂いたお蔭で、大過なく無事に例会運営が出来ました事を大変感謝しています。併せてこの間の会員皆様のご理解とご協力、又、理事・役員の皆様の皆様のご支援とお力添えがあつてこそと、厚くお礼を申し上げます。

2021年7月1日の第1回例会から始まった上半期は、すでに「まん延防止重点措置期間」であり、その後8月2日から9月30日までは「緊急事態宣言」が発令され、休会を余儀なくされてきました。この間に開催された例会は5回のみ、予定行事の奉仕活動委員会及びフォーラムや会員相互間の懇親の機会である夏のビアパーティー、秋の名月鑑賞会もできず、2ヶ月間大変厳しい辛い日々を過ごしました。

10月に入って「緊急事態宣言」が解除されたことを受け、ハイブリット例会が開始され、飲食には制限が有った為、スクール方式の座席、食事なし(ホテルの食事券配

布)の設定でしたが、会員の皆様とお会いできる例会こそがロータリークラブの基本であることを実感できました。

その後も再び感染が拡大する事を防ぎ、安心・安全の日常生活を取り戻すために「感染しない」「感染させない」の強い意識と行動を決意した例会運営でした。そして、全国の感染者数が減少した事を踏まえ、10月21日からは食事付き例会を、11月25日からは従来の丸テーブルとなりコロナ禍以前の例会場形式となりました。

上半期の実行出来た行事としては9月26日、「全国統一アクトの日」に合わせて、社会奉仕委員会、青少年アクト委員会の会員が浜寺公園において清掃活動に参加いたしました。

10月21日には、RI2640 地区豊岡 敬ガバナーの正式訪問を頂き「ガバナーアドレス」を承りました。RI 会長、地区ガバナーの2021-2022年度の方針は新型コロナウイルスとの戦いのこの時期こそ、世界のRC会員の大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの参加が重要であり、困窮している人々に対して、社会奉仕や職業奉仕を通じて希望を照らす光となり、その光の輪を広げて行くことが期待されていました。

12月の最終例会は2年ぶりに忘年親睦家族会を開催して、会員、ご家族、ゲスト（堺ローターアクトのメンバー、米山奨学生）約60名と「鉄道・飛行機ものまね立川真二氏」の公演を楽しみ、会員相互の懇親の時間を持つことが出来ました。

2022年1月から始まった下半期はワクチン接種の効果もあり第5波が下火になったものの、年末年始を迎えて新たな変異株オミクロン株が発症して再び感染者数の増加による第6波に繋がり、1月27日より「まん延防止等重点措置」が発令され、その後3月21日まで延長されました。

そのような時期ではありましたが堺RCは基本的な防御策を厳守して、感染防止に努める事を前提に3月3日から再びハイブリット例会を開催することにしました。収束

の见えないコロナ禍の状況下で 残された下半期の例会運営が会員の皆様にとっても楽しい、有意義なロータリーライフに繋がるように、会員の皆様との意見交換の場として、例会開催が最重点項目である事を理事・役員の皆様からも賛同が得られ、その後も継続開催が出来、本年度の最終例会を迎えられる事に深く感謝しています。

中でも例会時の卓話プログラムは担当委員のご協力により、外部卓話12名、会員卓話12名と大変有意義なお話をお聞きすることが出来、例会を盛り上げて下さいました。卓話を頂きました皆様、有難うございました。

一年を通しての反省は、年初に各委員会の皆様から活発な社会奉仕、職業奉仕の活動計画を頂きながら、下半期は外部に向けての活動が自粛の状況下が続いたため、その成果を掲げる事がこの出来ませんでした。この期に及んでお叱りを受けるとは思いますが、コロナ禍であったとは言え、余りにも慎重にし過ぎたのではないかと、もっと知恵を絞り工夫を凝らして、時には会員の皆様のお知恵も頂きながら、積極的な行動が取れていたのではないかと猛省しています。

今まで経験したことの無い困難な時代の一年とは言え不甲斐ない結果になりましたが、浅学菲才な私を支え、励まして下さった林幹事様、木澤SAA様本当に有難うございました。感謝申し上げます。

理事・役員の皆様、会員の皆様、多くの方々より沢山のお力添えを賜りました事、心からお礼申し上げます。有難うございました。

6月のロータリーレート

1ドル→127円

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。
R財団委員会より

卓 話

「2022年規定審議会について」

RID2640 情報規定副委員長
西尾幸祐(堺おおいずみ RC)

規定審議会は3年に1度、世界の全地区から代表議員がシカゴに集まり、おもにRI定款細則、RC定款について議論し、改定を決める会議です。今年は4月10日～14日まで、新型コロナの影響もあり、オンライン参加も認めたハイブリッドの形で行われました。前回、前々回と異なりクラブに大きな影響を与える変更はありませんでしたが、ロータリーの未来を考える上で非常に重要な会議だったともいえます。

(クラブ定款の6条、7条、10条、13条は今回改定されますので、8月頃にWebからRC標準定款をダウンロードし、堺RCの定款を変更していただくようお願いいたします。)

まず制定案[23-15]の「会員がクラブの所在地域に住居または事業所を有する要件の削除」が採択されましたが、これなどは地域密着の従来のロータリークラブとは全く異なる団体になったと言えるかと思えます。また[22-85]「出席報告の提出義務の削除」が決まったことも、昨今の流れからすると当然のこととはいえ、20世紀のロータリーでは考えられないことです。

2月に亡くなられたビチャイ・ラタクル元RI会長が「ロータリーの変化が変えなくてはいけない所を変えるだけでなく、変えてはならない所まで変えてしまったのではないだろうか？」という危惧は、ベテランのロータリアンの方は皆さん抱いておられます。本来はこういった変化は規定審議会で採択された後でも、反対表明をすることでブレーキをかけることはできます。ただ残念なことに、こういったことに無関心のクラブが多いことも事実です。ぜひ堺RC

の皆様にも規定審議会に関心を持っていただき、納得いかない採択案に対しては反対表明をしていただきたいと思います。

賛成にせよ反対にせよ興味を持っていただけて議論できる間は、ロータリーは発展すると思いますが、無関心のままとんでもない方向にロータリーが進めば、ロータリーの魅力は無くなり、会員の減少は止まらずクラブの解散に向かって一直線に進んでしまいます。

ぜひ3年に1回のこの機会にロータリーの仕組みに関心を持っていただければと思います。

臨時理事役員会議事録

日 時 2022年6月9日(木) 例会時～
場 所 ホテル アゴーラリージェンシー
大阪堺3階 例会場
出席者 佐野・東野・山中・高橋明・奥中
神山・黒川・林・木澤・野地
(敬称略)

I. 議 案

- 2022-2023年度地区情報規定委員会委員の件
東野裕暢会員を推薦する。

承認

SRフォト同好会

— テッセン(鉄線) —



自宅にて

熊野道夫会員